
富山市民意識調査結果報告書
《概要版》

令和2年12月

富山市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 富山市での住み良さ.....	2
① 富山市の住み心地	
② 富山市への定住意識	
③ 富山市に住み続けたい理由	
④ 富山市外へ引っ越したい理由	
⑤ 富山市以外での居住経験	
⑥ 富山市の住み心地（富山市以外の居住経験がある人を対象）	
3. 富山市の印象	9
4. 施策の満足度	10
5. 今後のまちづくりの重点.....	16
6. 普段の取り組み.....	17

この冊子のみかた

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と合算したあとの割合を示す数値とは一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が 100%を上回る。
- ・ N は各質問に対する回答者総数であり、比率算出の基数である。
- ・ 「H30 年調査」及び「H27 年調査」とは、それぞれ平成 30 年度及び平成 27 年度に実施した富山市民意識調査の結果を示す。

1

調査の概要

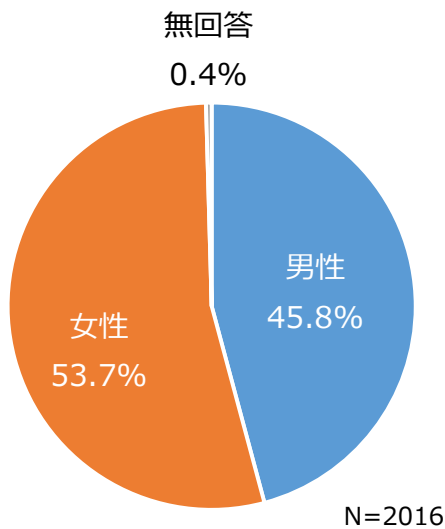
富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆様へ、施策の満足度や市政への要望などについてのお考えやご意見をお伺いし、今後の総合計画等、市政の推進に反映させていくことを目的に実施しました。

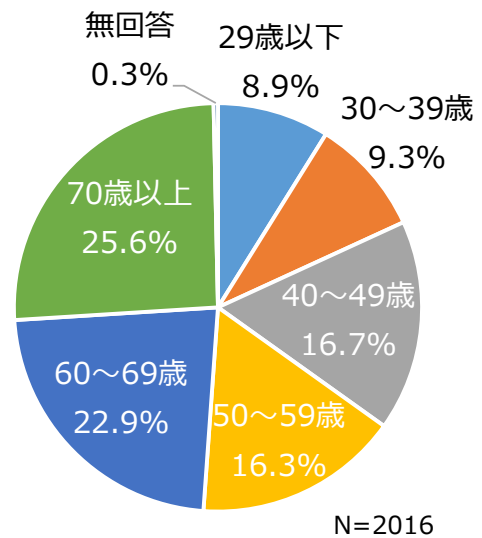
無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様5,000人に依頼し、2,016人、40.3%の方から回答をいただきました。ご回答いただいた方の内訳は次のとおりです。

調査回答者内訳

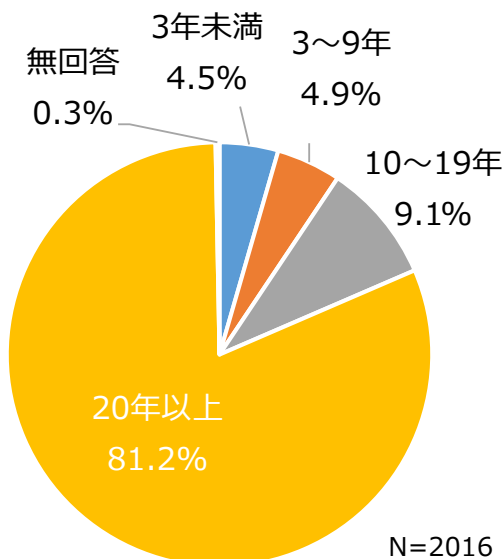
【性別】



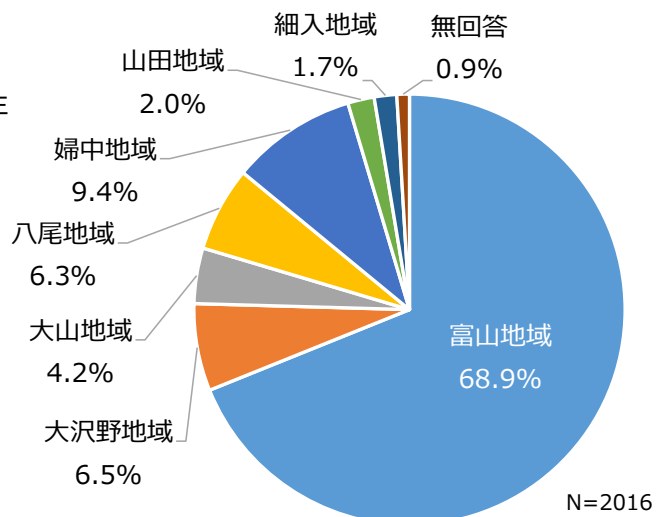
【年齢別】



【居住年数別】



【居住地域別】



2

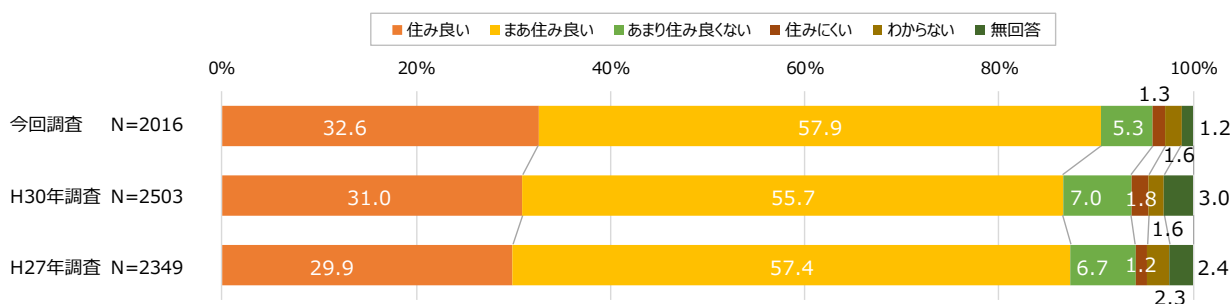
富山市での住み良さ

① 富山市の住み心地

●9割近くの人が「住み良い」、「まあ住み良い」と感じている

平成 27 年調査からの変化について見ると、「住み良い」と「まあ住み良い」を合わせた回答割合は、いずれもおおよそ 9 割と大きな変動はないものの、「住み良い」とした回答割合は、徐々に増加しています。

【富山市の住み心地<全体・経年変化>】

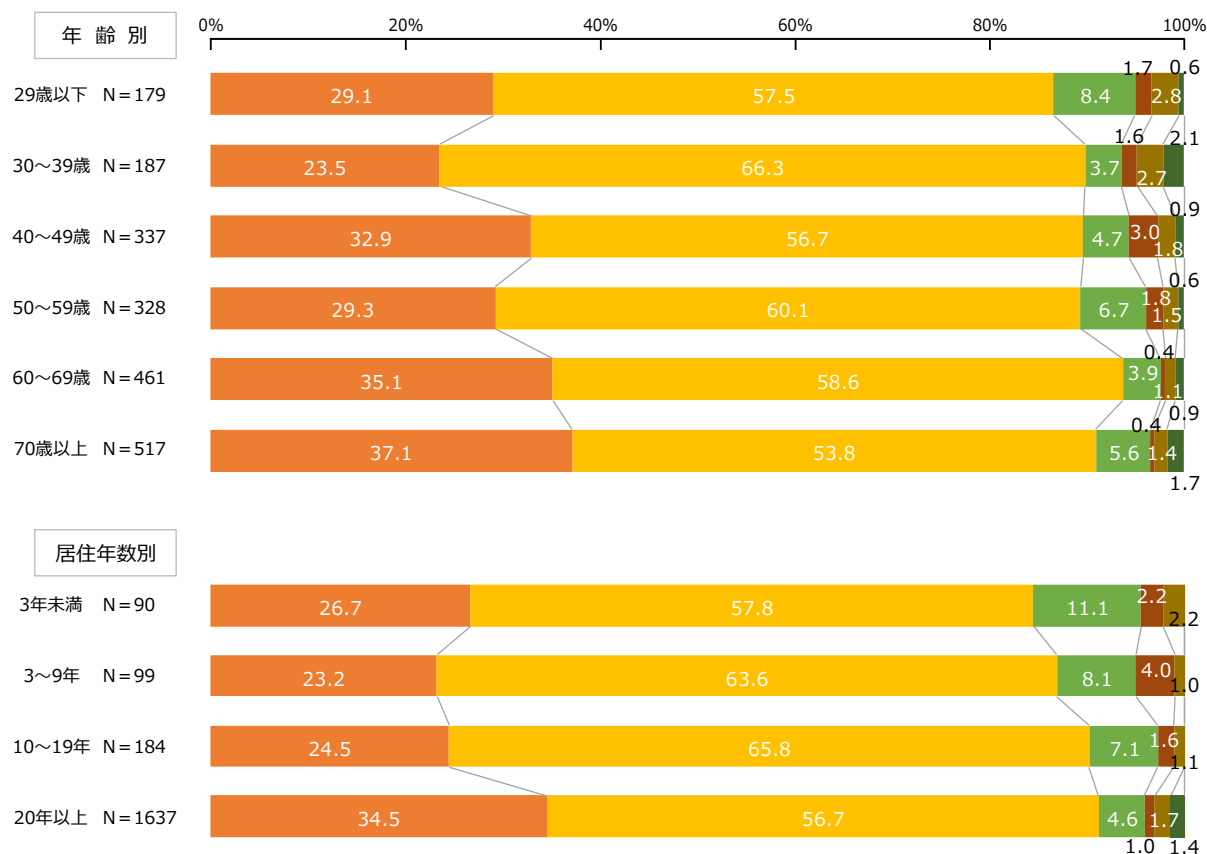


●長く住んでいる人ほど「住み良い」、「まあ住み良い」と感じている

年齢別に「住み良い」または「まあ住み良い」と回答した割合を見ると、60 歳代が最も高く、29 歳以下が最も低くなっています。

居住年数別に見ると、10 年以上の居住者は「住み良い」、「まあ住み良い」と回答した割合が高く、合わせて 9 割を超えています。一方、9 年以下の居住者の 1 割以上が「あまり住み良くない」または「住みにくい」と感じています。

【富山市の住み良さ<年齢別・居住年数別>】

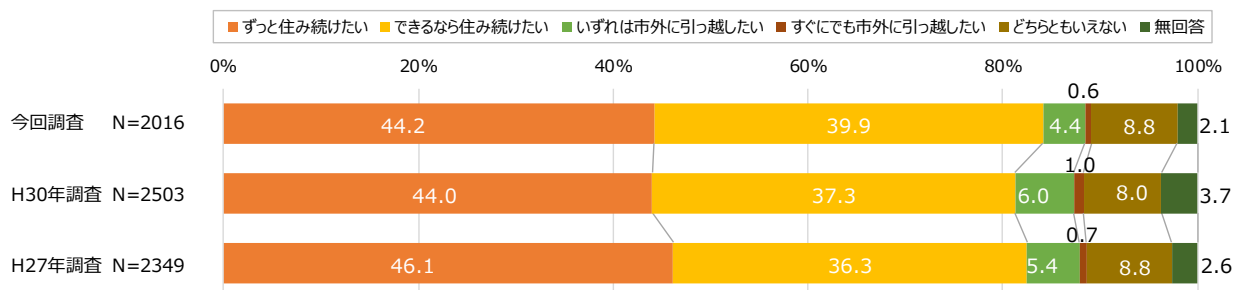


② 富山市への定住意識

●8割以上が「ずっと住み続けたい」、「できるなら住み続けたい」と回答

平成 27 年調査から一貫して 8 割以上が、今後も富山市に「ずっと住み続けたい」または「できるなら住み続けたい」と回答しており、その割合は今回の調査で増加しています。

【富山市への定住意識＜全体・経年変化＞】

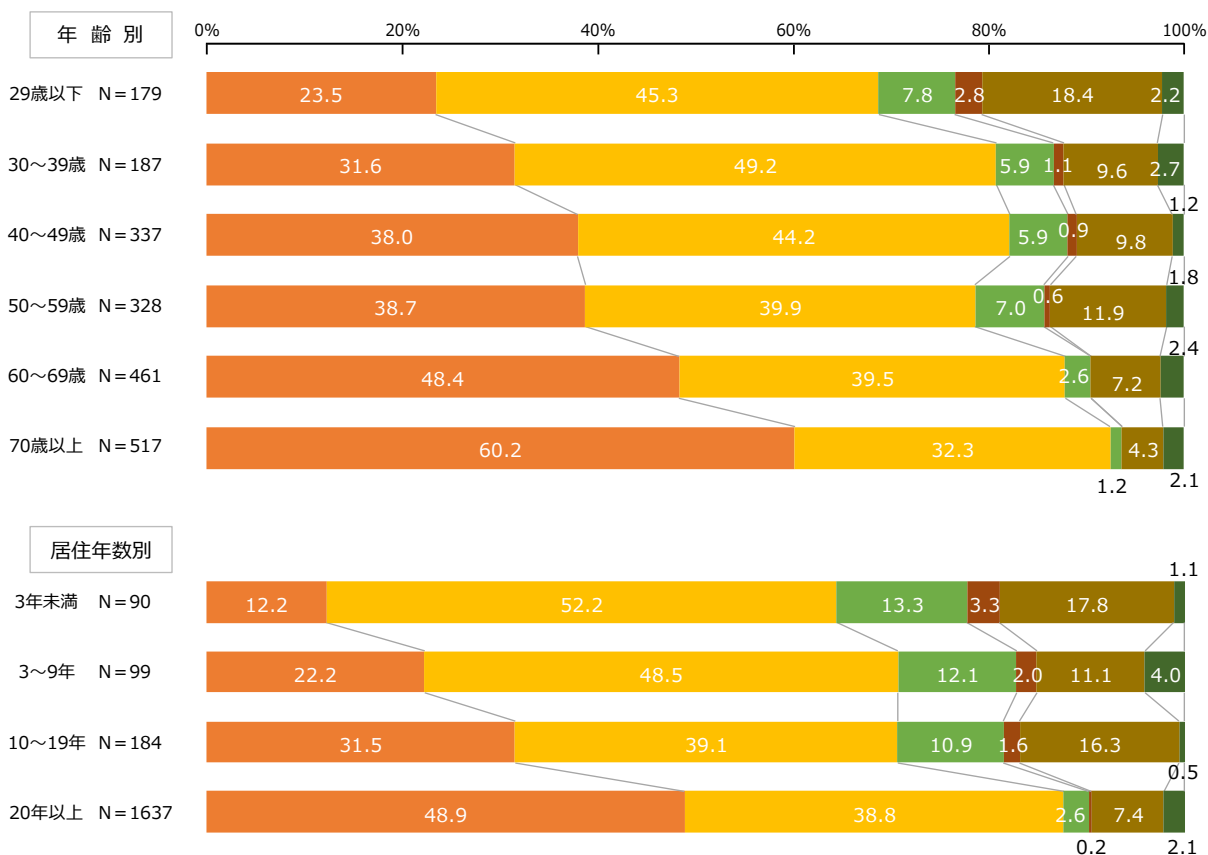


●長く住んでいる人ほど定住意識も強い

年齢別に見ると、「ずっと住み続けたい」と回答した割合は、年齢が上がるほど高くなっていきます。

居住年数別に見ると、居住年数が長いほど「ずっと住み続けたい」と考える割合も高く、20年以上の居住者と3年未満の居住者の間には36.7ポイントの差が見られます。

【富山市への定住意識＜年齢別・居住年数別＞】



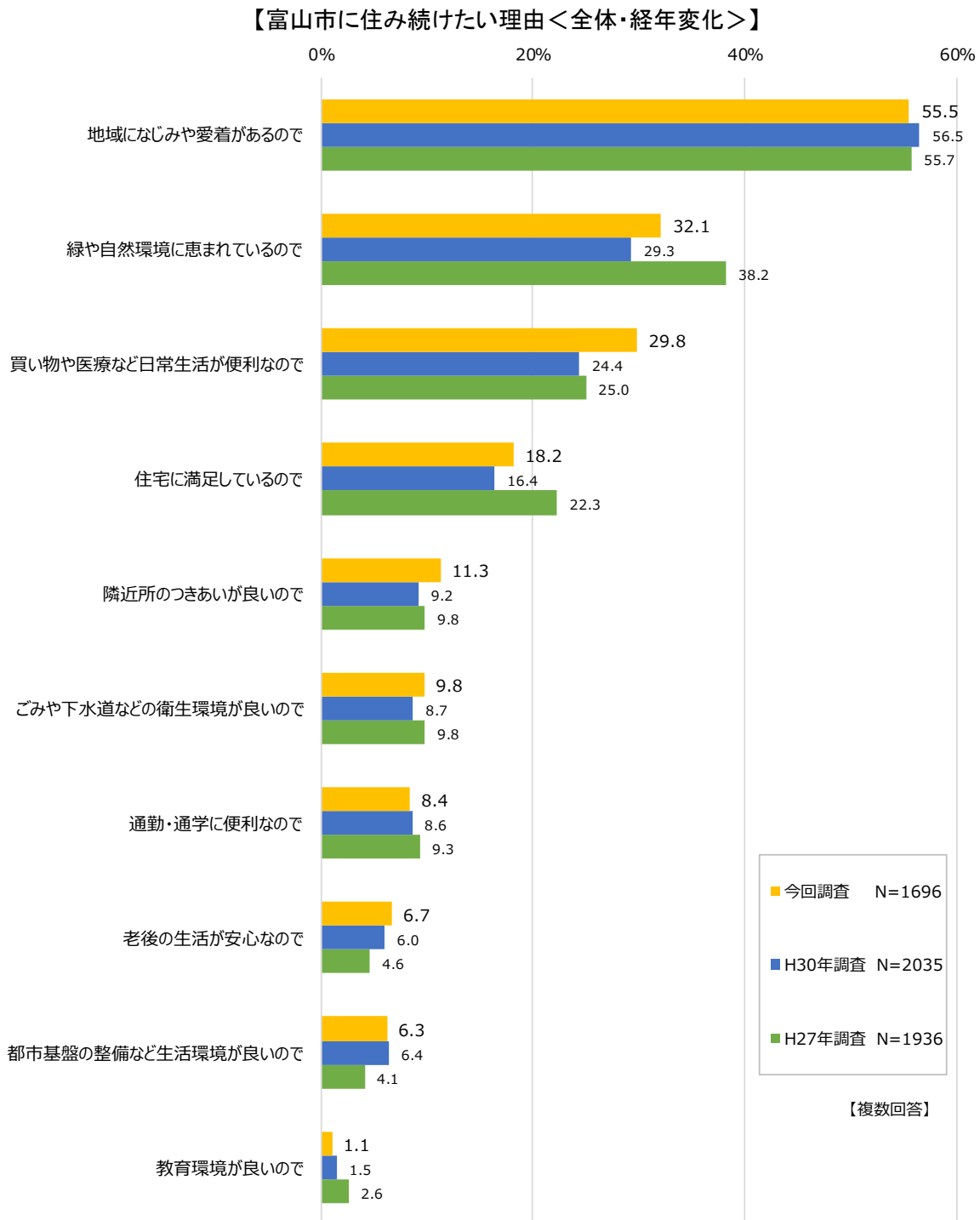
③ 富山市に住み続けたい理由

(P3 ②の質問で、「ずっと住み続けたい」、「できるなら住み続けたい」と回答した方にお伺いしました)

●「地域へのなじみや愛着」が定住意識を高めている

住み続けたい理由としては、平成27年調査から一貫して「地域になじみや愛着があるの」が最も高く、その割合に大きな変化は見られません。

また、平成30年調査でも3位であった「買い物や医療など日常生活が便利なので」は他の項目と比べて大きく増加しています。



*「その他」及び無回答は表示していない

●居住年数が短いちは「日常生活の便利さ」を重視

年齢別に見ると、いずれの年代も「地域になじみや愛着があるので」とした理由が最も割合が高くなっていますが、49歳以下は、「通勤・通学に便利なので」という回答割合が比較的高くなっています。また、60歳以上は、「隣近所のつきあいが良いので」や「ごみや下水道などの衛生環境が良いので」という回答割合が比較的高くなっています。

居住年数別に見ると、10年以上の居住者は、「地域になじみや愛着があるので」という回答割合が高くなっています。一方、9年以下の居住者は、「買い物や医療など日常生活が便利なので」が全体を大きく上回り、これらが富山市の魅力となっていることがうかがえます。

【富山市に住み続けたい理由<年齢別・居住年数別>】

	回答者数(人)	地域になじみや愛着があるので	緑や自然環境に恵まれているので	買い物や医療など日常生活が便利なので	住宅に満足している	隣近所のつきあいが良い	環境が良いので	ごみや下水道などの衛生環境が良いので	通勤・通学に便利なので	老後の生活が安心なので	都市基盤の整備など生活環境が良いので	教育環境が良いので	その他	無回答
全体	1,696	55.5	32.1	29.8	18.2	11.3	9.8	8.4	6.7	6.3	1.1	6.1	0.2	

<年齢別>

29歳以下	123	64.2	30.9	24.4	17.1	6.5	6.5	19.5	3.3	8.1	0.8	4.1	-
30～39歳	151	51.7	25.8	31.1	21.2	2.0	4.0	23.8	1.3	9.9	4.0	7.9	0.7
40～49歳	277	55.6	32.1	22.4	15.9	7.6	4.3	14.1	3.6	8.3	1.8	8.3	0.7
50～59歳	258	56.6	38.0	25.6	15.9	7.4	5.8	8.9	6.2	6.6	1.9	8.9	-
60～69歳	405	56.0	34.3	31.6	18.8	14.6	11.9	3.5	8.6	4.0	-	6.2	-
70歳以上	478	53.6	29.5	35.8	19.2	16.7	16.1	1.5	9.8	5.2	0.2	3.1	-

<居住年数別>

3年未満	58	10.3	31.0	46.6	24.1	1.7	3.4	29.3	6.9	22.4	1.7	5.2	-
3～9年	70	18.6	28.6	41.4	32.9	5.7	7.1	24.3	7.1	11.4	10.0	5.7	-
10～19年	130	37.7	30.8	33.1	22.3	5.4	8.5	20.0	6.2	9.2	0.8	9.2	0.8
20年以上	1,435	60.8	32.5	28.2	16.8	12.4	10.3	5.8	6.8	5.1	0.6	5.9	0.1

は、各属性 第一位の回答

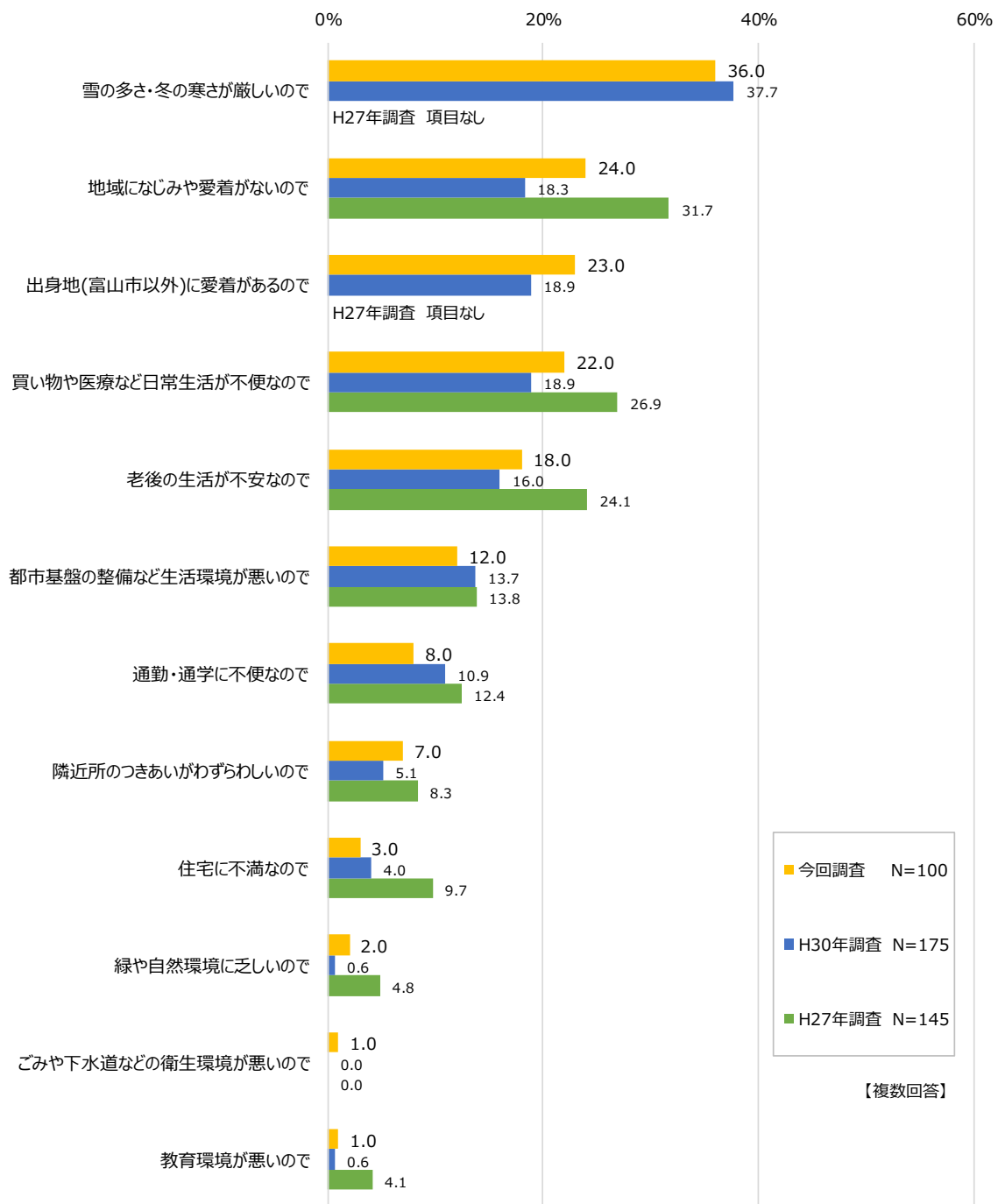
④ 富山市外へ引っ越したい理由

(P3 ②の質問で、「いずれは市外に引っ越したい」、「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した方にお伺いしました)

●「冬の厳しさ」が引っ越したい第一の理由

引っ越したい理由としては、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」という回答割合が平成30年調査に引き続き最も高く、2位の「地域になじみや愛着がないので」は、平成30年調査を5.7ポイント上回っています。

【富山市外へ引っ越したい理由<全体・経年変化>】



*「その他」及び無回答は表示していない

●居住年数が短い人は「出身地（富山市以外）に愛着」、長い人は「雪の多さ・冬の寒さ」

年齢別に見ると、50歳代と70歳以上は「老後の生活が不安なので」という回答割合が最も高くなっています。

居住年数別に見ると、3年以上の居住者は「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」の回答割合が高くなっています。一方、9年以下の居住者は「出身地（富山市以外）に愛着があるのでは」という回答割合が高く、特に3年未満の居住者は46.7%となっています。

【富山市外へ引っ越したい理由＜年齢別・居住年数別＞】

(%)

	回答者数(人)	雪の多さ・冬の寒さが厳しいので	地域になじみや愛着がない	出身地(富山市以外)に愛着がある	買い物や医療など日常生活が不便	老後の生活が不安	都市基盤の整備など生活環境が悪い	通勤・通学に不便	隣近所につきあいがわずらわしい	住宅に不満	緑や自然環境に乏しい	ごみや下水道などの衛生環境が悪い	教育環境が悪い	その他	無回答
全体	100	36.0	24.0	23.0	22.0	18.0	12.0	8.0	7.0	3.0	2.0	1.0	1.0	31.0	1.0

<年齢別>

29歳以下	19	21.1	15.8	10.5	26.3	-	10.5	5.3	5.3	-	-	-	-	52.6	-
30～39歳	13	23.1	38.5	38.5	15.4	-	7.7	23.1	-	7.7	7.7	-	-	23.1	-
40～49歳	23	47.8	21.7	21.7	26.1	4.3	13.0	17.4	4.3	-	4.3	4.3	4.3	26.1	-
50～59歳	25	32.0	28.0	24.0	8.0	36.0	16.0	-	8.0	-	-	-	-	28.0	4.0
60～69歳	12	41.7	25.0	41.7	25.0	16.7	-	-	8.3	16.7	-	-	-	41.7	-
70歳以上	6	50.0	-	-	50.0	66.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-

<居住年数別>

3年未満	15	13.3	33.3	46.7	13.3	-	6.7	6.7	-	6.7	-	6.7	-	33.3	-
3～9年	14	42.9	14.3	35.7	21.4	-	7.1	21.4	-	-	7.1	-	-	42.9	-
10～19年	23	39.1	43.5	13.0	21.7	8.7	4.3	4.3	-	-	4.3	-	-	43.5	-
20年以上	46	37.0	13.0	17.4	23.9	30.4	19.6	6.5	13.0	4.3	-	-	2.2	21.7	2.2

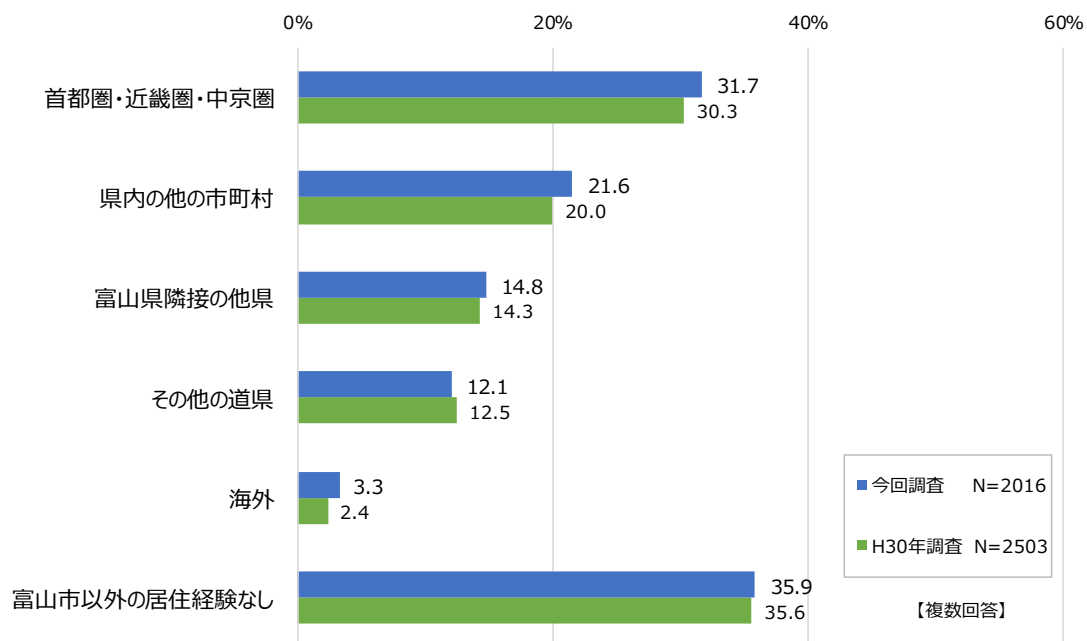
□ は、各属性 第一位の回答

⑤ 富山市以外での居住経験

● 3大都市圏での居住経験者が多い

3割の人が「首都圏・近畿圏・中京圏」での居住経験があると回答しており、その他の地域での居住経験を含め前回調査とほぼ同様となっています。

【 富山市以外の居住経験＜全体・経年変化＞ 】



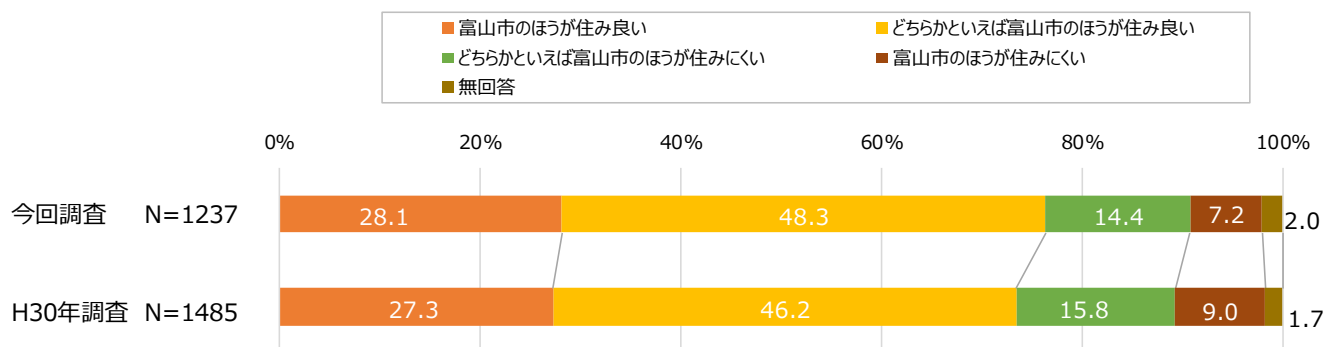
*無回答は表示していない

⑥ 富山市の住み心地（富山市以外の居住経験がある人を対象）

● 富山市以外での居住経験がある人の7割以上が「富山市の方が住み良い」と回答

富山市以外での居住経験がある人のうち、7割以上の人が「富山市の方が住み良い」または「どちらかといえば富山市の方が住み良い」と回答しており、前回調査とほぼ同様となっています。

【 富山市との住み良さの比較＜全体・経年変化＞ 】



3 富山市の印象

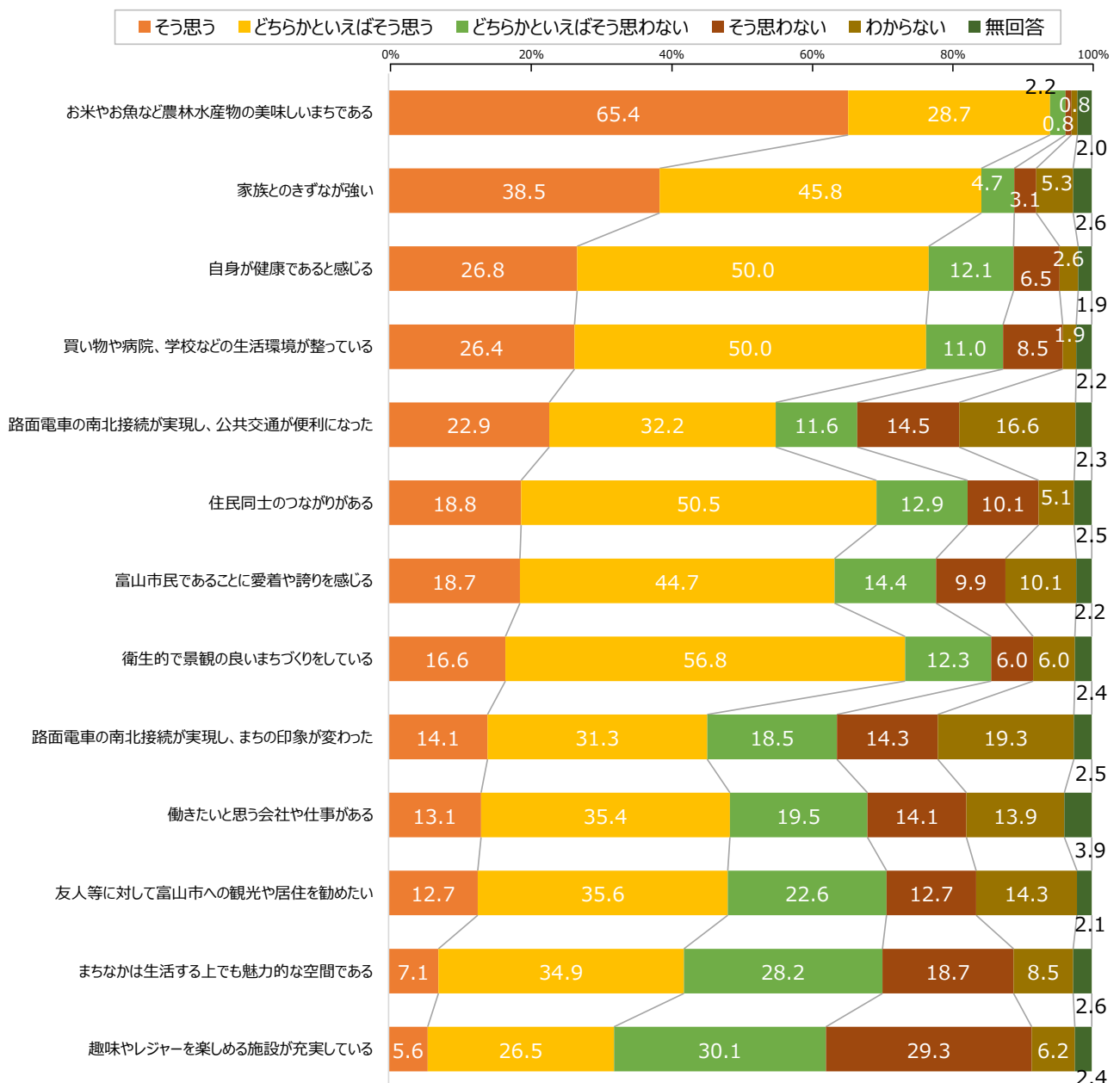
市民の皆様が抱えている富山市の印象を13項目について回答いただきました。

●「農林水産物の美味しさ」が顕著

富山市の印象について、全体の9割以上の方が「お米やお魚など農林水産物の美味しいまちである」という項目に対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」という印象を持っており、他の項目を大きく上回っています。また、同様に8割前後の人が「家族とのきずなが強い」、「自身が健康であると感じる」、「買い物や病院、学校などの生活環境が整っている」という印象を持っています。

一方、半数以上の方が「趣味やレジャーを楽しめる施設が充実している」という項目に対して、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」という印象を持っています。

【富山市の印象】



4 施策の満足度

富山市では4つの“まちづくりの目標”のもと、51の施策を設定して第2次富山市総合計画を推進しています。この51の施策について、市民の皆様の満足度をお尋ねしました。

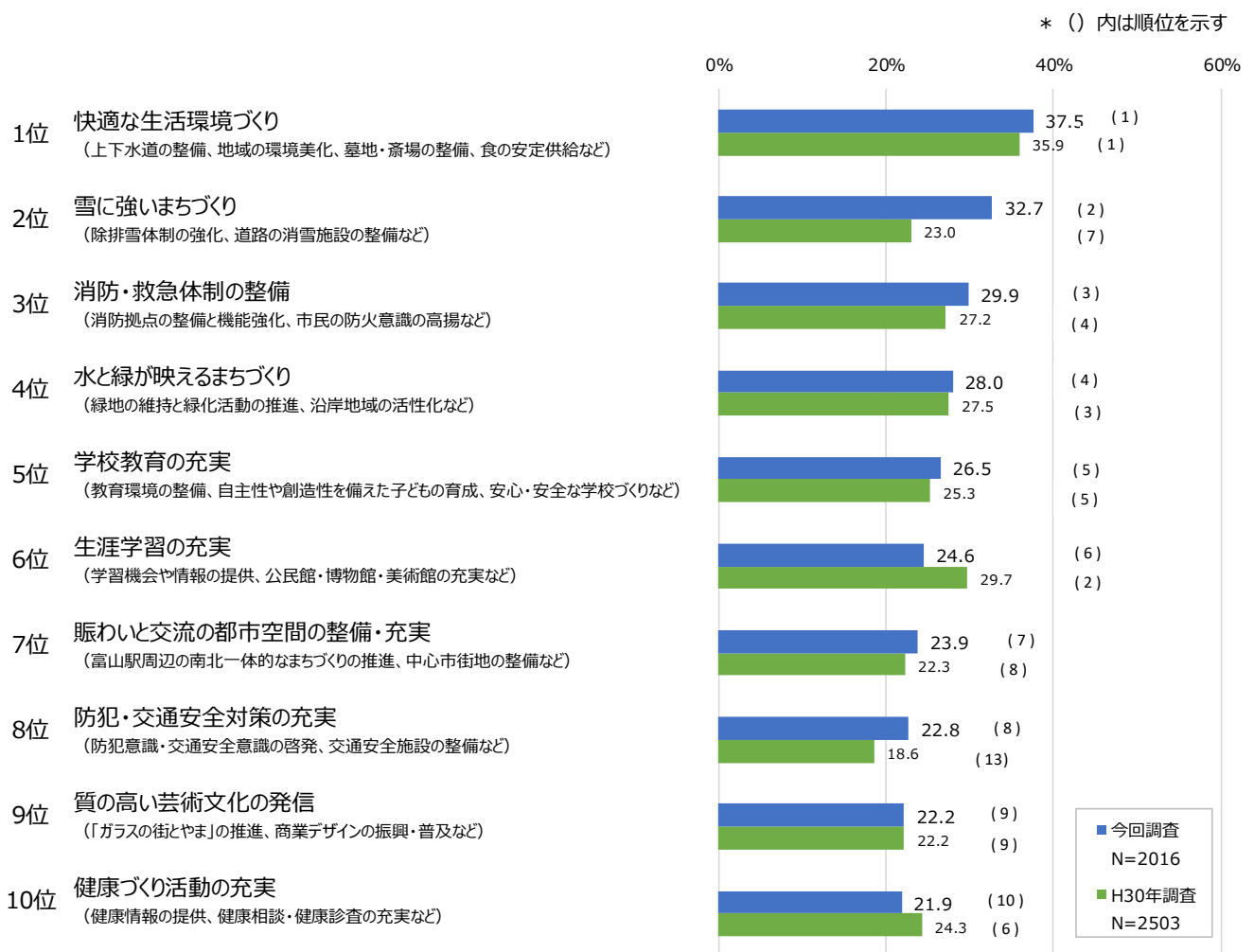
回答は6段階（満足—ほぼ満足—普通—やや不満—不満—わからない）ですが、ここではそのうちの「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』として順位をつけました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

● 「快適な生活環境」、「雪に強いまちづくり」に満足

『満足』の割合が高い施策について見ると、「快適な生活環境づくり」が最も高く、次いで「雪に強いまちづくり」、「消防・救急体制の整備」となっています。

前回調査で7位の「雪に強いまちづくり」は、今回は2位となり順位を上げています。一方、前回調査で2位の「生涯学習の充実」が6位へ順位を下げています。

【 『満足』（満足＋ほぼ満足）：10位以内＜全体・経年変化＞ 】

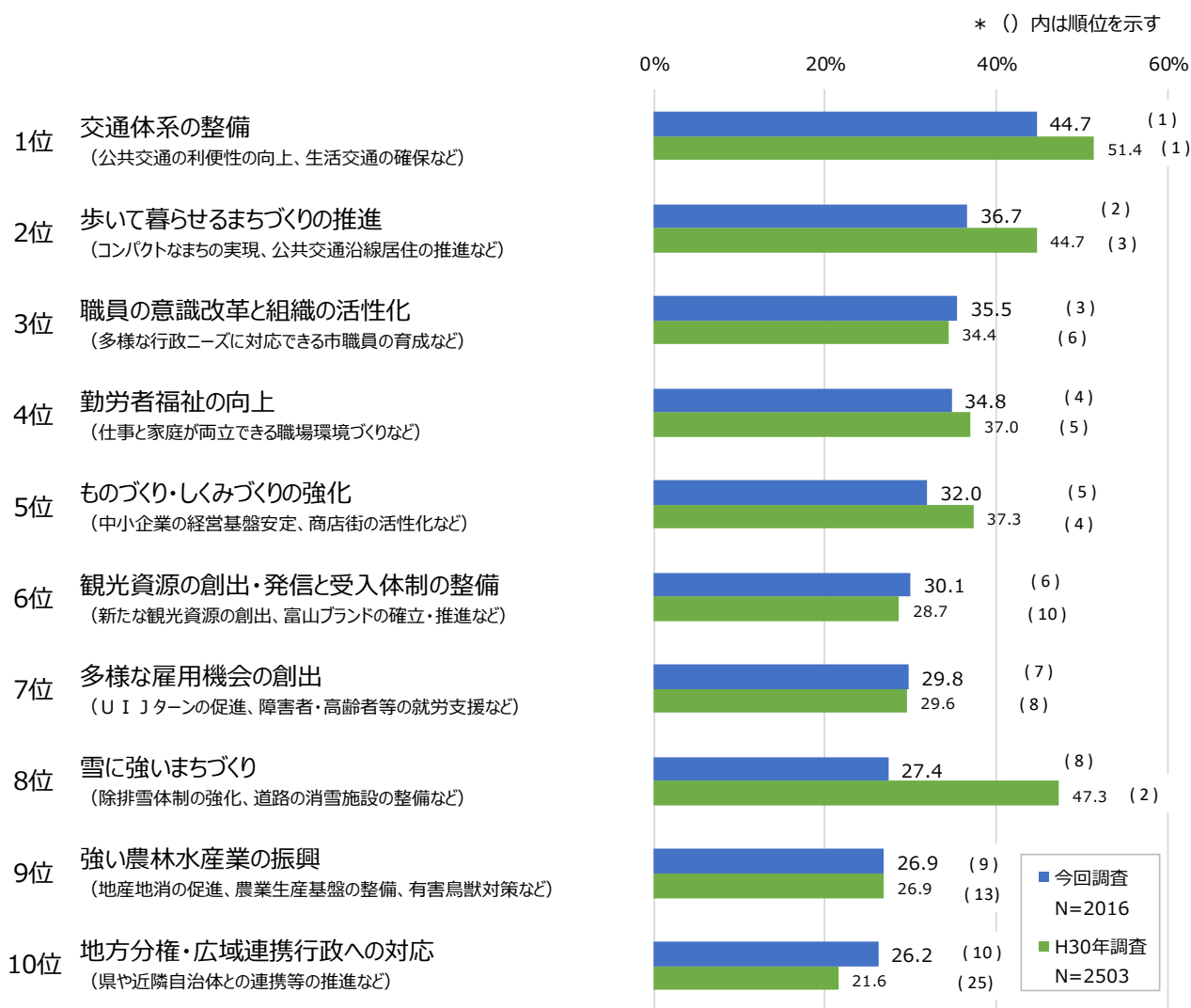


●「交通体系の整備」、「歩いて暮らせるまちづくりの推進」に不満

『不満』の割合が高い施策について見ると、前回調査で1位の「交通体系の整備」が最も高く、次いで前回調査で3位の「歩いて暮らせるまちづくりの推進」となっています。『不満』の割合は、前回調査に比べて、「交通体系の整備」は6.7ポイント、「歩いて暮らせるまちづくりの推進」は8.0ポイント減っています。

昨冬の降雪の少なさの影響があったためか、前回調査で2位の「雪に強いまちづくり」が今回は8位となり、順位を下げています。

【『不満』（不満+やや不満）：10位以内＜全体・経年変化＞】



◇ 居住地域別『満足』『不満』— 10位以内 —

●地域の特性が表れる施策の満足度

『満足』について見ると、全体で1位の「快適な生活環境づくり」が細入地域以外でそれぞれ1位または2位に挙げられています。全体で2位の「雪に強いまちづくり」については全ての地域で上位を占めています。

『不満』について見ると、全体で1位の「交通体系の整備」が山田地域では3位、その他の地域では1位に挙がっており、全体で2位の「歩いて暮らせるまちづくりの推進」が山田地域と細入地域以外の地域で上位を占めています。

地域別の特徴を見ると、大山、山田、細入地域では「高齢者・障害者への支援」と「介護予防・高齢者の元気づくり」が『満足』に入っており、一方、富山地域以外の6地域では「中山間地域の振興」が、大山、八尾、山田、細入地域では「地域の生活拠点の整備」がそれぞれ『不満』に入っています。

【『満足』（満足+ほぼ満足）/『不満』（不満+やや不満）：10位以内<居住地域別>】

全体に含めないもの

富山地域



大沢野地域

— 『満足』 —

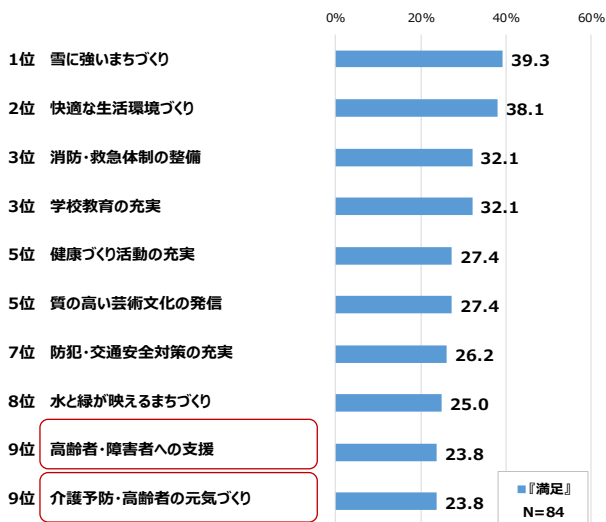


— 『不満』 —

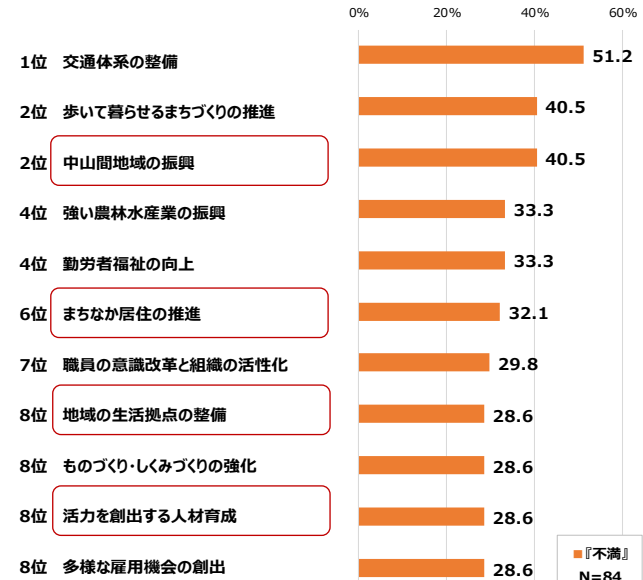


大山地域

— 『満足』 —

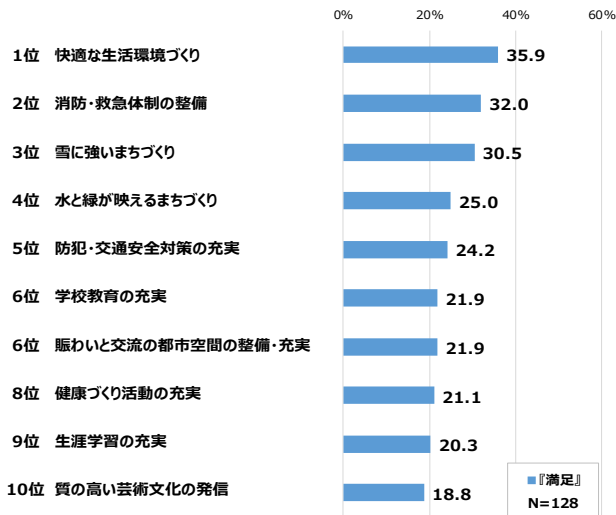


— 『不満』 —

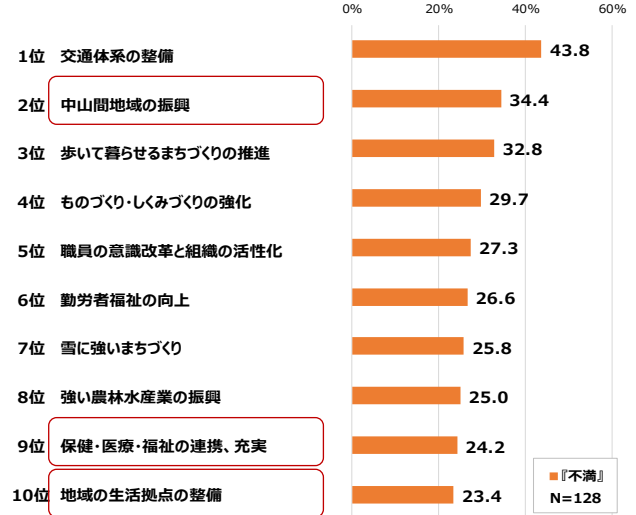


八尾地域

— 『満足』 —

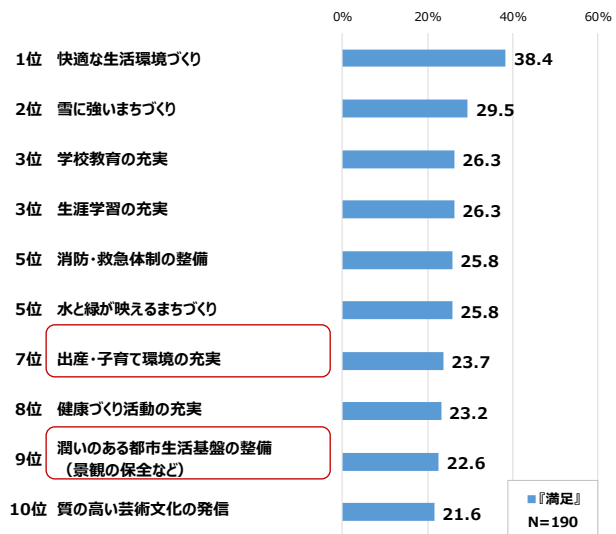


— 『不満』 —

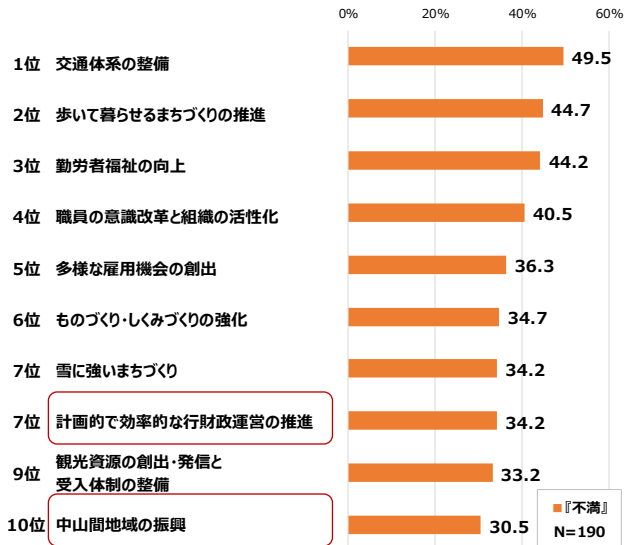


婦中地域

— 『満足』 —



— 『不満』 —

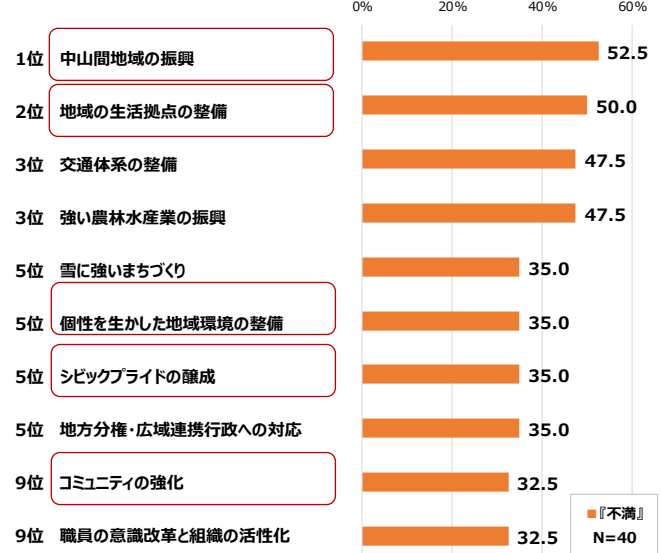


山田地域

— 『満足』 —



— 『不満』 —

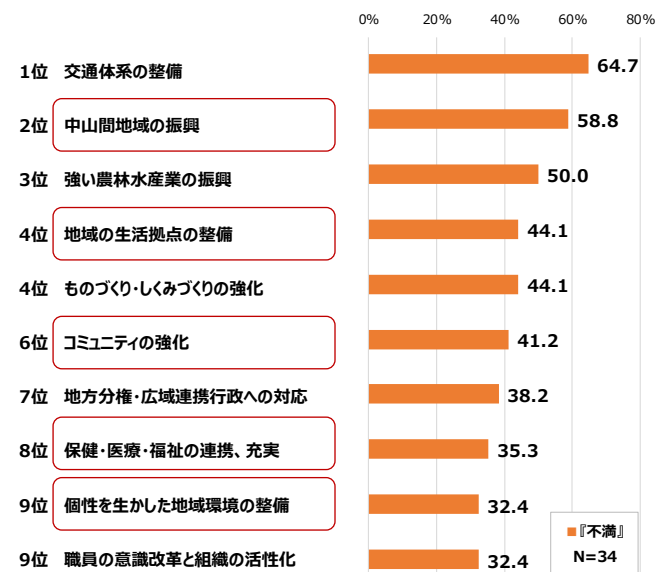


細入地域

— 『満足』 —



— 『不満』 —



5 今後のまちづくりの重点

第2次富山市総合計画の51の施策のうち、最も重点的に取り組むべきであると思うものを、1つだけ選んで回答いただきました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

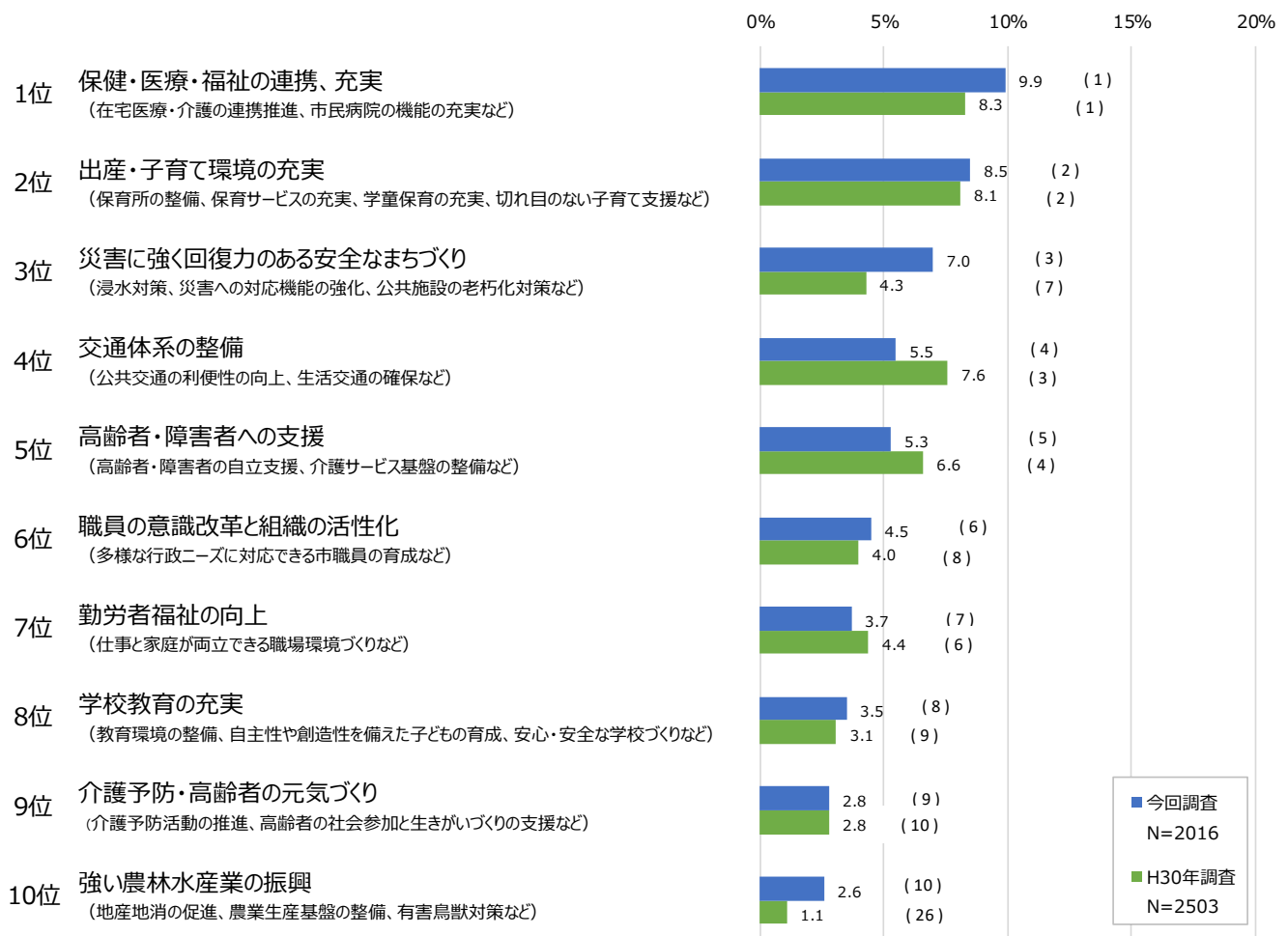
●「保健・医療・福祉」、「出産・子育て」を最重視

前回調査と同じく「保健・医療・福祉の連携、充実」が最も高く、次いで「出産・子育て環境の充実」となっています。

前回調査で7位の「災害に強く回復力のある安全なまちづくり」が今回は3位となっており、近年、全国的に大規模な自然災害が増えていることから、重要な施策であるとの認識が高まっていることがうかがえます。なお、1位の「保健・医療・福祉の連携、充実」については、前回調査に比べて1.6ポイント増えており、その要因として、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響している可能性があります。

【最も重点的に取り組むべき施策：上位10施策＜全体・経年変化＞】

* () 内は順位を示す



6 普段の取り組み

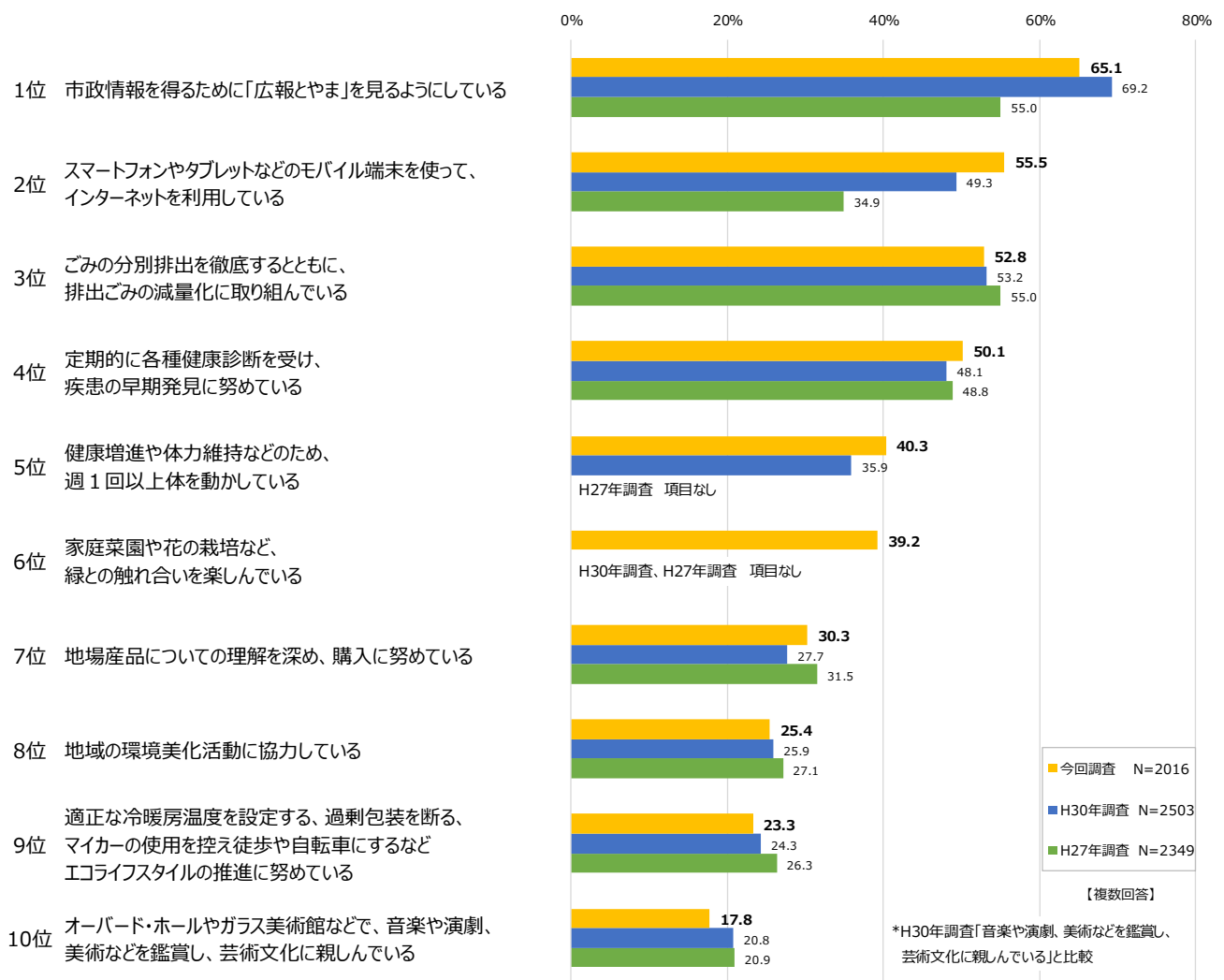
市民の皆様が普段から行っている取り組みについて 23 の項目から選んで回答いただきました。そのうち、10 位以内の項目は次のとおりです。

●半数以上が「広報とやま」で市政情報を得ている

上位 5 項目は、平成 30 年調査から引き続き同様の取り組みが占めており、「市政情報を得るために「広報とやま」を見るようにしている」と回答した人の割合が最も高くなっています。

「スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を使って、インターネットを利用している」は年々割合が高くなっており、日常生活の中にスマートフォンなどが普及してインターネットの利用が一層浸透していることがうかがえます。

【普段から行っている取り組み: 上位 10 項目<全体・経年変化>】



富山市民意識調査結果報告書《概要版》

令和2年12月 発行

富山市 企画管理部 企画調整課

〒930-8510 富山市新桜町7番38号

TEL (076) 443-2010 (直通)

FAX (076) 443-2170

調査・分析 有限会社 WIZARD

富山市秋吉 191 番 9

TEL (076) 464-3272
